

公表:令和7年3月25日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1			<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の変化により、動きのある活動の際に危険だと思ふ箇所がある。 ・個別で対応したい児がいる時に対応できる個別スペースがないこと。その際に事務室内に見を入らせていることがある。 ・走り回ったりすることがあるので、安全に配慮して本棚を整えたり、テーブルの位置等、スペースを確保している。 ・運動したり、ボール投げ、跳び箱、鬼ごっこ等の活動ができてきているので、十分なスペースの確保はできている。 ・座って遊ぶ子、体を動かして遊びたい子、それぞれが同時に遊べるスペースが確保されている。 	⇒安全に配慮した空間作りに引き続き取り組んでいきます。 ⇒個別に対応すべき状況で、そのスペースの確保が十分ではないが、いまある事業所内の部屋の中で、個別対応ができる空間を活用していきたいと考えています。
	② 職員の配置数は適切であるか	2	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・配置数的には問題がないが、送迎時間がまちまちであったり、利用者がある中で同時に複数台で送迎に行かなければならない現状からみると、せめてあと1人は職員がいるといいと思う。 ・法令で決まっている職員の配置数は満たしているが、個別支援が必要な児がいて、支援体制が十分だとは言えない状況がある。 ・適切ではあるが、送迎が重なる等で、やや少なくなってしまう時間帯が存在する。 ・現場では「あと1人いてくれたら助かるな」と思うことが多々ある。 	⇒職員は、法令で定められた配置基準を満たしており、さらに職員を加配しています。 ⇒送迎の時間帯が重なり、1名を残し、職員が一斉に送迎に出してしまうこと、個別に支援が必要な児が重なる等、時間帯によって、一時的に体制上、もう1名配置したいという課題認識はありますが、現状の職員の配置にさらに増員した配置は、困難と考えています。今後職員の勤務時間の見直し(短時間勤務で複数名の職員配置)なども含め、改善の必要性があれば、検討していきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸物件なので改修工事は難しい。玄関や窓ガラスを叩いたり蹴ったりする事があり危険を感じる。 ・玄関先の段差、仕切りの僅かな段差などがある。 ・玄関やトイレの段差が気になる。 	⇒賃貸物件のため、段差解消の改修工事は難しいですが、介助の必要な利用者に対しては、複数の職員で対応するなどの合理的配慮を行なっていきます。 ⇒窓ガラスなどの危険箇所については、さらに割れないよう飛散防止シートを貼るなどの予防処置を行ないます。
	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に入る前に今日注意すべき点、支援後には、振り返りを行っている。 ・日々の振り返りや会議等で行われていると思う。 ・業務改善のための振り返りを行っている。 ・受け身の部分が強いように見える。 	⇒目標設定や振り返りに、自由に意見を出し合えるような職場風土、体制を構築していきます。

公表:令和7年3月25日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				・毎年、保護者向けのアンケートを行い、ご意見をいただき、職員間で周知している。	⇒様々な保護者からのご意見を参考に、より良い支援につなげられるよう業務改善、創意工夫などに取り組んでいきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				・自己評価の結果はホームページに掲載されている。	⇒結果については、ホームページ上で公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3				・第三者評価機関への評価依頼は今年度行っていない。	⇒第三者評価機関への依頼は現在は考えてはみませんが、県が実施する運営指導があれば、きちんと評価を受けていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				・法人全体で、全職員対象に、階層別にジョブモデルアカデミーによる研修動画を受講している。 ・充実した研修制度だと思う。	⇒年間研修計画を立て、法人全職員を対象とした定期的な研修の機会を確保しています。また外部研修の機会があれば、参加します。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				・5領域を網羅した新しいアセスメントシートを作成し、それをもとに計画作成を行っている。 ・面談などで子どもや保護者の方に意見を伺い、個別支援計画についても、方向性を確認している。	⇒保護者や子どもだけでなく、相談支援事業所等からの情報も参考にし、課題を抽出、分析しています。 ⇒課題の客観的分析の方法については、様々なツールでの分析が可能かどうか、新たなソフトの導入も含め検討しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				・5領域を網羅した新しいアセスメントシートを作成し、それをもとに計画作成を行っている。 ・事業所にあったアセスメント表を作成した。 ・5領域を網羅した新しいアセスメントシートを作成し、それをもとに計画作成を行っている。	⇒令和6年度の改定にあわせ、5領域を網羅したアセスメントシートに変更致しました。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2			・活動内容について職員同士で協議し、それぞれの利用者にあったプログラムを用意している。具体的な内容を支援計画に記載し反映させている。 ・話はするが細かいところまでは決まらないことがある。	⇒活動内容は、創意工夫をしながら、利用者が飽きないよう取り組みます。また5領域の視点を踏まえプログラムを立案していきます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2			・こだわりの強い利用者も多いので、活動が固定化してしまう部分も見られるが、季節ごとの行事や屋外での活動などを取り入れ、工夫を行っている。 ・変化を加えながら行なえていると思う。 ・ルーティンになっている児や、自由に過ごしたい児が多いので、難しいことがある。短時間支援も影響している。 ・利用者の希望もあり、固定しがちになってしまっているところもある。	⇒固定のプログラムの方が安心して過ごせる利用者に配慮するとともに、マンネリ化せず、新しいプログラムの発案にも努めます。

公表:令和7年3月25日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ、細やかに設定して支援しているか。	3	2			<ul style="list-style-type: none"> ・長期期間は外に出て活動したいが、夏の暑さを考えると無理がある。出たくない児に対しては無理せず本人の意向を尊重している。 ・長期休暇の際は、長時間の利用時間を活かし、屋外活動、外出、プールなど普段とは違う活動に取り組みている。 ・利用者の様子を見ながら、特に長期休みの時にはいつもとは違う活動ができるようにしていると思う。 	⇒長時間利用時は、特にその活動時間を有効に活用し、普段なかなか取り組めない活動等ができるよう今後も検討していきます。
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・主に集団活動の支援になっている。“他児と共に過ごせること”を支援の軸に置いていることもあると思う。個別活動も利用者の意思に沿う形で行われていると思う。 ・基本的には集団における活動にプラスして個別活動も盛り込んだ内容となっている。 ・集団活動が難しいと思える児に対しては個別活動を盛り込んで対応している。 	⇒5領域すべてを関連づけられるような支援を提供することを基本とし、個別、集団活動を組み合わせた計画書を作成します。
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				<ul style="list-style-type: none"> ・午前中に1回と午後からの職員が揃ったところでの再度の打ち合わせを行っている。 ・当日、急な送迎変更になった場合等、全職員に周知できていないことがある。 	⇒支援内容などの確認と共有はもちろんですが、スケジュールや送迎の変更等があれば職員全体に伝わるよう工夫をしていきます。
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1			<ul style="list-style-type: none"> ・適切に行われていると思うが、当日、出勤していない又は早上がりした職員に対しての申し送りノート等のツールがほしい。 ・支援終了後に振り返り、共有している。その日休みだった職員に対しては翌日に話しをしている。 ・毎回、各職員から振り返りの報告をさせている。 	⇒当日休みの職員、早帰りする職員にも気づいたことを伝達できる方法やツールを検討していきます。
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・毎日記録を残し、不明な点は、職員間で確認し、情報が共有されるよう工夫している。 ・その日の活動については、その日のうちに記録に残すことを徹底している。 ・毎日記録をとり、気づいたことは話し合い、情報交換している。 	⇒記録が、支援の検証・改善につながるような記載の仕方、残し方を考えていきます。
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的モニタリングは行っている。気になることがあればその時に確認している。 	⇒今後もモニタリング会議や職員会議等を通して、支援の修正や見直しを行っています。

公表:令和7年3月25日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	1			・本人の意思で自由に活動したり、まったりしたり、職員から促された活動をしている。 ・課題は複数あり、それぞれにあったものを提供できるようにしている。 ・バラエティに富んだ活動を組み合わせる支援している。	⇒利用者の意見や意向は、常に意識して尊重しながら、主体的に取り組めるような姿勢で、支援に望んでいきたいと思っております。	
	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				・児童発達支援管理責任者が参加している。	⇒専門職が参加し、関係機関との連携を図っていきます。	
	⑳ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5				・事前に下校予定時間表をもらう。下校時に先生と話をしたが、細かい情報はこちらから声をかけて聞き取りをしなければならない。 ・下校時間の変更が急遽あった場合、学校によっては直接連絡をもらうなどの連携が図られている。 ・送迎時に各校から受けたものを職員間で共有するようにしている。	⇒学校からの情報、事業所側から確認する情報、それぞれ必要に応じ、適切に行なっています。	
	㉑ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			1		4	・現状、医療的ケア児の受け入れはないが、受け入れするならば体制を整えなければいけないと思う。	⇒今後そのような対象の利用者が出てきた場合には体制を整えていきます。
	㉒ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に務めているか	3	2				・センター利用者については、事前に情報共有を図っている。保育園、幼稚園とは事前の情報共有はできていない。	⇒相談支援専門員との間で事前の情報提供や共有などの調整を行っていることが多いが、事業所間に関しても必要に応じて対応します。
	㉓ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1			2	・現在は、先方からの問い合わせがあったときのみ、情報提供を行っている。	⇒必要に応じて連携を図っていきたく思っています。
	㉔ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1				・同一法人内にセンターがあり、研修や助言等で連携を図っている。 ・気になることがあった時には行うように努めている。	⇒専門職である基幹相談の相談員からの助言等、必要に応じて連携していきます。
	㉕ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	2			・地域の公園等を利用した際の交流などの場がある。 ・公園等に行った時に他事業所の児と会う事はあるが、積極的な関わりではない。 ・特にそのような活動を見たことはない。公園は人が少ない場所を選んでいるが、これは利用児の特性を配慮してのことだと思う。	⇒地域にある防災センターや、公共の場(小学校プール)、公園等で活動を行っており、分け隔てなく地域の子どもたちとの交流も進めていきます。
㉖ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4				1	・児童発達支援管理責任者を中心に、必要に応じ直接支援員の職員も参加させている。 ・こども支援部会、相談・地域支援部会等に出席している。	⇒今後も、管理者や児童発達支援管理責任者を中心に参加していきたいと思っております。	

公表:令和7年3月25日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1			・送迎時が主にはなっているが、気になることがあれば電話をかけるなどして、共通理解を図れるようにしている。 ・日頃から、共通理解となるとどうなのかと思うが、面談時や送迎時に伝えている。	⇒今後も丁寧な対応を心掛けていきます。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1		1	・保護者会の中で、ペアレントトレーニング基礎講座を開催した。 ・法人として、ペアレントトレーニングをしている。	⇒法人内でトレーナー養成のため研修受講を行い、実際の講座も実施したり、保護者交流会の中でペアレント・トレーニングの講座を開催しました。
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				・管理者が契約時などに丁寧に対応している。	⇒今後も契約時などに丁寧に行ないます。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				・面談時、送迎時にお受けすることがある。その場でお答えする時もある。一旦持ち帰ってお答えすることもある。 ・保護者からの相談に対して、電話やLINEにて随時適切に応じている。	⇒管理者や児童発達支援管理責任者が適切に対応していきます。また各担当の相談支援専門員等とも日々連携を図っていきます。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5				・昨年は悪天候で開催できなかった親子バーベキューや、保護者交流会を毎年企画開催している。 ・法人の親子バーベキューや保護者交流会を開催している。	⇒保護者交流会の内容を充実させ、積極的に参加していただけるよう工夫していきます。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				・苦情受付や解決責任者を整備しており、苦情やご意見を受けた際には、即座に対応するように努めている。 ・苦情マニュアルに応じて、適切に対応がなされている。	⇒迅速かつ丁寧な対応により、安心してご利用していただける事業所を目指していきたいと思っております。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				・毎月のめだか通信の発行、悪天候時の連絡体制など事前に発信し、ご理解を得ている。 ・毎月のめだか通信とホームページに活動写真のアップをしている。	⇒毎月のめだか通信の発行、ホームページでの活動写真のアップ、またイベントや悪天候時の連絡など、引き続き情報発信を行なっていきます。
	③⑮ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5				・個人情報使用同意書による確認、PCに関しては、パスワード設定。HP上の写真ギャラリーは、パスワード設定あり。 ・個人情報の書かれているファイルは、鍵の付いているキャビネットに入っている。	⇒今後も、契約時に説明し、同意をいただき、情報の保管と使用には細心の注意を払っていきます。
	③⑯ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				・できるだけわかりやすい説明や、ひらがなのみでのLINEなどの配慮を行っています。 ・絵カードやジェスチャーなどで対応している。	⇒情報量も多く、正確に伝え、誤解を招かず、ご理解をいただくうえでも、十分に配慮をしながら発信しています。

公表:令和7年3月25日

職員数 5名 回収数 5件 割合 100%

事業所名:めだかくらぶ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題等	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑳ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		2	2	・ザリガニ釣りて場所をお借りしたことはあるが、地域に開かれた事業運営とはいえないかなと思う。 ・ザリガニ釣りに関しては、地域住民の協力を得て、実施している。 ・招待する企画はできていない。	⇒利用者の活動や体験を、地域の方と協力しながら取り組んでいきます。 ⇒法人としては、次年度、市内で児童発達支援事業を利用されている保護者を対象にしたペアレント・トレーニングの事業を行う予定です。
	㉑ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2			・マニュアルはいつでも閲覧出来る様に置いてある。保護者に対しては十分周知出来ていない。 ・職員には周知できているが、保護者までには十分に至っていない。	⇒地震発生時など、具体的な対応方法について、保護者に対して簡略化したわかりやすい内容のものを周知をしていきたいと思っています。
	㉒ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				・毎月、様々な災害を想定した避難訓練を実施。引き取り訓練も実施。	⇒警察や消防の力も借りて、法人内で実施している防犯対応やAEDの取り扱いなどの研修を受講していきたいと思っています。
	㉓ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				・虐待の基礎理解のための研修や事例等を扱い、虐待防止の方針に則って対応している。 ・虐待に対する研修を受けている。職員間でも話し合い、共有している。	⇒研修の実施は、運営上義務化もされていますので、年間計画を立て、職員の質の向上のため、研修を行ないます。
非常時等の対応	㉔ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		1		・マニュアルに記載してある手順で、対応していく、身体拘束を行う児童がいないため記載者はなし。 ・身体拘束対応マニュアルを整備している。	⇒身体拘束はしないことを原則としつつ、緊急やむを得ず身体拘束を行う場合には、保護者、学校などあらゆる関係機関から意見を聞き、事前に説明と同意の上、計画書への記載をした上で実施します。
	㉕ 食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	1	3		1	・聞き取りの時点でアレルギーの有無は確認している。そのうえでおやつやイベント等で提供する食品が問題ないか確認し、職員にも周知していく必要がある。	⇒現在は該当の利用者はおりませんが、対象となる子どもがいらっしゃる場合、保護者や医療機関との情報共有や連携を行ない、対応します。
	㉖ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1			・事例集は見たことはないが、ヒヤリハットについて現場職員間で情報共有できるようにしている。 ・事例集の作成はしていないが、日々の終礼時や毎月の職員会議等で共有している。 ・ヒヤリハットを取り出し、具体的な予防策を検討したりしている。	⇒事業所内で起きたヒヤリハットを毎月まとめ、確認をしています。事例集という形にはしていませんが、職員が実際におきた事例を確認できるようにしていきたいと思っています。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。